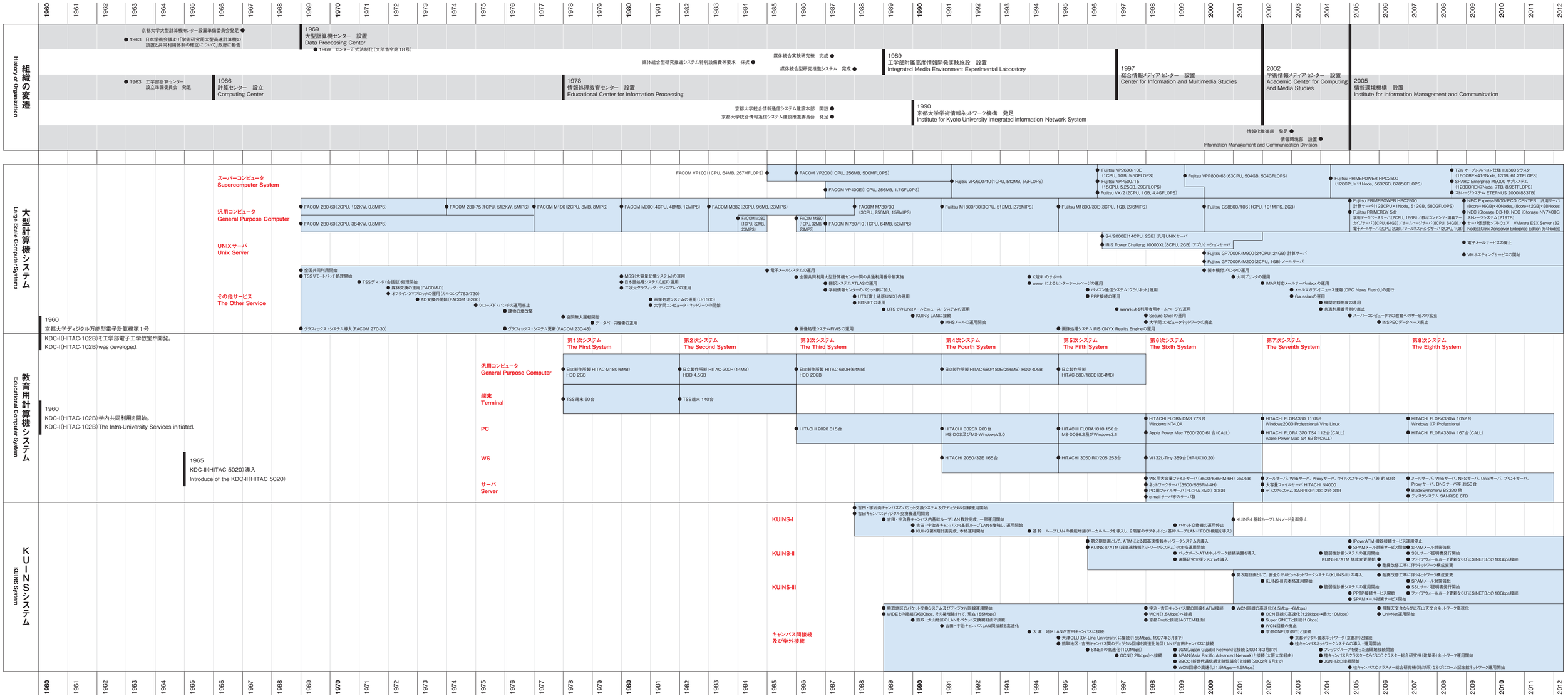
# 沿革 History


1960 1961 1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012
組織の変遷
History of Organization
京都大学大型計算機センター設置準備委員会発足
1963 日本学術会議より「学術研究用大型高速計算機の設置と共同利用体制の確立について」政府に勧告
1969 大型計算機センター 設置 Data Processing Center
1969 センター正式法制化（文部省令第18号）
1963 工学部計算センター設立準備委員会 発足
1966 計算センター 設立 Computing Center
媒体統合実験研究棟 完成
媒体統合型研究推進システム特別設備費等要求 採択
媒体統合型研究推進システム 完成
1989 工学部附属高度情報開発実験施設 設置 Integrated Media Environment Experimental Laboratory
1978 情報処理教育センター 設置 Educational Center for Information Processing
1997 総合情報メディアセンター 設置 Center for Information and Multimedia Studies
2002 学術情報メディアセンター 設置 Academic Center for Computing and Media Studies
2005 情報環境機構 設置 Institute for Information Management and Communication
京都大学統合情報通信システム建設本部 開設
京都大学統合情報通信システム建設推進委員会 発足
1990 京都大学学術情報ネットワーク機構 発足 Institute for Kyoto University Integrated Information Network System
情報化推進部 発足
情報環境部 設置
Information Management and Communication Division
大型計算機システム
Large Scale Computer Systems
スーパーコンピュータ Supercomputer System
汎用コンピュータ General Purpose Computer
UNIXサーバ Unix Server
その他サービス The Other Service
FACOM VP100(1CPU, 64MB, 267MFLOPS)
FACOM VP200(1CPU, 256MB, 500MFLOPS)
FACOM VP400E(1CPU, 256MB, 1.7GFLOPS)
Fujitsu VP2600/10(1CPU, 512MB, 5GFLOPS)
Fujitsu VP2600/10E (1CPU, 1GB, 5.5GFLOPS)
Fujitsu VPP500/15 (15CPU, 5.25GB, 29GFLOPS)
Fujitsu VX/2(2CPU, 1GB, 4.4GFLOPS)
Fujitsu VPP800/63(63CPU, 504GB, 504GFLOPS)
Fujitsu PRIMEPOWER HPC2500 (128CPUX11Node, 5632GB, 8785GFLOPS)
T2K オープンスパコン仕様 HX600クラスタ (16CORE×416Node, 13TB, 61.2TFLOPS)
SPARC Enterprise M9000 サブシステム (128CORE×7Node, 7TB, 8.96TFLOPS)
ストレージシステム ETERNUS 2000(183TB)
FACOM 230-60(2CPU, 192KW, 0.8MIPS)
FACOM 230-60(2CPU, 384KW, 0.8MIPS)
FACOM 230-75(1CPU, 512KW, 5MIPS)
FACOM M190(2CPU, 8MB, 8MIPS)
FACOM M200(4CPU, 48MB, 12MIPS)
FACOM M382(2CPU, 96MB, 23MIPS)
FACOM M380 (1CPU, 32MB, 23MIPS)
FACOM M380 (1CPU, 32MB, 23MIPS)
FACOM M780/30 (3CPU, 256MB, 159MIPS)
FACOM M780/10(1CPU, 64MB, 53MIPS)
Fujitsu M1800/30(3CPU, 512MB, 276MIPS)
Fujitsu M1800/30E(3CPU, 1GB, 276MIPS)
Fujitsu GS8800/10S(1CPU, 101MIPS, 2GB)
Fujitsu PRIMEPOWER HPC2500 計算サーバ(128CPUX1Node, 512GB, 580GFLOPS)
Fujitsu PRIMERGY 5台 学術データベースサーバ(2CPU, 16GB)／教材コンテンツ・講義アーカイブサーバ(8CPU, 64GB)／ホームページサーバ(8CPU, 64GB)／電子メールサーバ(2CPU, 2GB)／メールホスティングサーバ(2CPU, 1GB)
NEC Express5800/ECO CENTER 汎用サーバ (8core+16GB)×40Nodes, (8core+12GB)×88Nodes
NEC iStorage D3-10, NEC iStorage NV7400G ストレージシステム(219TB)
サーバ仮想化ソフトウェア VMware ESX Server (32 Nodes),Citrix XenServer Enterprise Edition (64Nodes)
S4/2000E(14CPU, 2GB) 汎用UNIXサーバ
IRIS Power Challeng 10000XL(8CPU, 2GB) アプリケーションサーバ
Fujitsu GP7000F/M900(24CPU, 24GB) 計算サーバ
Fujitsu GP7000F/M200(2CPU, 1GB) メールサーバ
電子メールサービスの廃止
VMホスティングサービスの開始
1960 京都大学ディジタル万能型電子計算機第1号
全国共同利用開始
TSSリモートバッチ処理開始
TSSデマンド（会話型）処理開始
媒体変換の運用(FACOM-R)
オフライン-XYプロッタの運用（カルコンプ763/730）
AD変換の開始(FACOM U-200)
クローズド・パンチの運用廃止
建物の増改築
夜間無人運転開始
データベース検索の運用
グラフィックス・システム導入(FACOM 270-30)
グラフィックス・システム更新(FACOM 230-48)
MSS（大容量記憶システム）の運用
日本語処理システム(JEFF)運用
三次元グラフィック・ディスプレイの運用
画像処理システムの運用(U-1500)
大学間コンピュータ・ネットワークの開始
電子メールシステムの運用
全国共同利用大型計算機センター間の共通利用番号制実施
銀訳システムATLASの運用
学術情報センターのパケット網に加入
UTS（富士通版UNIX）の運用
BITNETの運用
UTSでのjunetメール・ニュース・システムの運用
KUINS LAN に接続
MHSメールの運用開始
画像処理システムFIVISの運用
製本機付プリンタの運用
X端末 のサポート
www によるセンターホームページの運用
PPP接続の運用
wwwによる利用者用ホームページの運用
Secure Shellの運用
大学間コンピュータネットワークの廃止
画像処理システムIRIS ONYX Reality Engineの運用
大判プリンタの運用
IMAP 対応メールサーバinboxの運用
メールマガジン「ニュース速報（DPC News Flash）」の発行
Gaussianの運用
機関定額制度の運用
共通利用番号制の廃止
スーパーコンピュータでの教育へのサービスの拡充
INSPECデータベース廃止
教育用計算機システム
Educational Computer System
KDC-I(HITAC-102B)をエ学部電子工学教室が開発。
KDC-I(HITAC-102B)was developed.
1960
KDC-I(HITAC-102B)学内共同利用を開始。
KDC-I(HITAC-102B) The Intra-University Services initiated.
1965
KDC-II(HITAC 5020)導入
Introduce of the KDC-II(HITAC 5020)
第1次システム The First System
第2次システム The Second System
第3次システム The Third System
第4次システム The Fourth System
第5次システム The Fifth System
第6次システム The Sixth System
第7次システム The Seventh System
第8次システム The Eighth System
汎用コンピュータ General Purpose Computer
端末 Terminal
PC
WS
サーバ Server
日立製作所製 HITAC-M180(6MB) HDD 2GB
日立製作所製 HITAC-200H(14MB) HDD 4.5GB
日立製作所製 HITAC-680H(64MB) HDD 20GB
日立製作所製 HITAC-680/180E(256MB) HDD 40GB
日立製作所製 HITAC-680/180E(384MB)
TSS端末 60台
TSS端末 140台
HITACHI 2020 315台
HITACHI B32GX 260台 MS-DOS及びMS-WindowsV2.0
HITACHI FLORA1010 150台 MS-DOS6.2及びWindows3.1
HITACHI FLORA-DM3 778台 Windows NT4.0A
Apple Power Mac 7600/200 61台(CALL)
HITACHI FLORA330 1178台 Windows2000 Professional/Vine Linux
HITACHI FLORA 370 TS4 112台(CALL)
Apple Power Mac G4 62台(CALL)
HITACHI FLORA330W 1052台 Windows XP Professional
HITACHI FLORA330W 167台(CALL)
HITACHI 2050/32E 165台
HITACHI 3050 RX/205 263台
VI132L-Tiny 389台(HP-UX10.20)
WS用大容量ファイルサーバ(3500/585RM-6H) 250GB
ネットワークサーバ(3500/555RM-4H)
PC用ファイルサーバ(FLORA-SM2) 30GB
e-mail サーバ等のサーバ群
メールサーバ、Webサーバ、Proxyサーバ、ウイルススキャンサーバ等 約50台
大容量ファイルサーバ HITACHI N4000
ディスクシステム SANRISE1200 2台 3TB
メールサーバ、Webサーバ、NFSサーバ、Unixサーバ、プリンサーバ、Proxyサーバ、DNSサーバ等 約50台
BladeSymphony BS320 他
ディスクシステム SANRISE 6TB
KUINS システム
KUINS System
KUINS-I
KUINS-II
KUINS-III
キャンパス間接続及び学外接続
吉田・宇治両キャンパスのパケット交換システム及びディジタル回線運用開始
吉田キャンパスディジタル交換機運用開始
吉田・宇治各キャンパス内基幹ループLAN敷設完成、一部運用開始
吉田・宇治各キャンパス内基幹ループLANを増強し、運用開始
KUINS第1期計画完成、本格運用開始
基幹 ループLANの機能増強（ローカルルータを導入し、2階層のサブネット化／基幹ループLANにFDDI機能を導入）
パケット交換機の運用停止
KUINS-I 基幹ループLANノード全面停止
第2期計画として、ATMによる超高速情報ネットワークシステムの導入
KUINS-II/ATM（超高速情報ネットワークシステム）の本格運用開始
バックボーンATMネットワーク接続装置を導入
遠隔研究支援システムを導入
IPoverATM 機器接続サービス運用停止
SPAMメール対策サービス開始
SPAMメール対策強化
脆弱性診断システムの運用開始
KUINS-II/ATM 構成変更開始
SSLサーバ証明書発行開始
ファイアウォールルータ更新ならびにSINET3との10Gbps接続
耐震改修工事に伴うネットワーク構成変更
第3期計画として、安全なギガビットネットワークシステム（KUINS-III）の導入
KUINS-IIIの本格運用開始
脆弱性診断システムの運用開始
PPTP接続サービス開始
SPAMメール対策サービス開始
耐震改修工事に伴うネットワーク構成変更
SPAMメール対策強化
SSLサーバ証明書発行開始
ファイアウォールルータ更新ならびにSINET3との10Gbps接続
熊取地区のパケット交換システム及びディジタル回線運用開始
WIDEとの接続（960Kbps、その後増強されて、現在155Mbps）
熊取・犬山地区のLANをパケット交換網経由で接続
吉田・宇治キャンパスLAN間接続を高速化
大津 地区LANが吉田キャンパスに接続
大津OLU（On-Line University）に接続（155Mbps、1997年3月まで）
熊取地区・吉田キャンパス間のディジタル回線を高速化地区LANが吉田キャンパスに接続
SINETの高速化（100Mbps）
OCN（128kbps）へ接続
宇治・吉田キャンパス間の回線をATM接続
WCN（1.5Mbps）へ接続
京都Pnetと接続（ASTEM経由）
JGN（Japan Gigabit Network）と接続（2004年3月まで）
APAN（Asia Pacific Advanced Network）と接続（大阪大学経由）
BBCC（新世代通信網実験協議会）と接続（2002年5月まで）
WCN回線の高速化（1.5Mbps→4.5Mbps）
WCN回線の高速化（4.5Mbps→6Mbps）
OCN回線の高速化（128kbps→最大10Mbps）
Super SINETと接続（1Gbps）
WCN回線の廃止
京都ONE（京都市）と接続
京都デジタル疏水ネットワーク（京都府）と接続
桂キャンパスネットワークシステムの導入・運用開始
ブレッジグループを使った遠隔地接続開始
桂キャンパスBクラスター ならびにCクラスター総合研究棟（建築系）ネットワーク運用開始
JGN-IIとの接続開始
桂キャンパスCクラスター総合研究棟（地球系）ならびにローム記念館ネットワーク運用開始
飛騨天文台ならびに花山天文台ネットワーク高速化
UniNet運用開始